

広報官を対象に潜水艦部隊研修を実施

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田辰雄）は、4月12日（火）、広報官等を対象とした潜水艦部隊の研修を実施した。

本研修は、募集対象者が潜水艦部隊で実際に研修するツアーに沿った内容の構成で、広報官自らが潜水艦部隊への知識と理解を深めることを目的に実施されたもので、広報官等21名が参加した。

当日は、第2潜水隊群司令部の支援の下、実際に潜水艦へ乗艦し、艦内の居住空間等の説明を受けた。研修者達は、普段なかなか目にするのでできない潜水艦内部を見学できたことで、真剣に担当者の説明に耳を傾け、また潜望鏡を実際に操作する等の貴重な体験を通じて、質問も徐々に熱を帯びていった。

神奈川地本は、「今日の研修の成果を、じ後の募集広報活動に反映させ、良質隊員の確保に努めていく。」と述べている。



第2潜水隊群の概要説明

部外講話で自衛隊を紹介

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平1陸尉）は、4月14日（木）、神奈川県平塚市最大の平塚ロータリークラブ会員約70名に対し、神奈川地本長 松田辰雄1等海佐による「S E A P O W E Rの意義と海洋の自由」と題した講話を行った。会員は会社の多くは経営者であり、今回の講話は、安全保障についての知見を深めたいという同クラブからの依頼を受け実施した。

講話では、シーパワーとは、味方の海洋の自由な利用を保障するとともに、適による利用を拒否する能力であるとのマハンの説について解説した。本講話は、沿岸で活躍する平塚のクラブ会員にとっては興味深い講話となった。

平塚地域事務所は、「今後も、広報活動等を通じ、地域の方々自衛隊を正しく理解いただくとともに、防衛基盤強化育成の、あらゆる機会を利用して自衛隊を紹介していきたい」と述べている。



講話を行う神奈川地本長